

2023（令和5）年度 前期 駒澤大学 公開講座 ～ 対面講座 ～



令和5年度 駒澤大学前期公開講座として、深沢キャンパス アカデミーホールにおいて4～7月の各月に1回、下記の講座を**対面形式**で開講します。
お申し込みは、下記QRコード または駒澤大学ホームページ よりお手続きください。

【4月講座】 禅の語録を読んでみる

講 師：小川 隆 （駒澤大学 総合教育研究部 外国語第二部門 教授）

日 時：4 / 22（土）【申込締切 4 / 17（月）】

【5月講座】 徳川家康の江戸入府と関東領国経営

講 師：中野 達哉 （駒澤大学 文学部 歴史学科 教授）

日 時：5 / 27（土）【申込締切 5 / 22（月）】

【6月講座】 大慧宗杲 と 宏智正覚 南宋初期に臨済宗と曹洞宗を担った禅の巨匠

講 師：佐藤 秀孝 （駒澤大学 仏教学部 禅学科 教授）

日 時：6 / 17（土）【申込締切 6 / 12（月）】

【7月講座】 ケアの多文化化 ー外国人介護従事者の語りを中心に

講 師：土田 久美子 （駒澤大学 文学部 社会学科 准教授）

日 時：7 / 29（土）【申込締切 7 / 24（月）】

（各講座）会 場：駒澤大学 深沢キャンパス アカデミーホール

時 間：13：00～14：30 開場：12：30

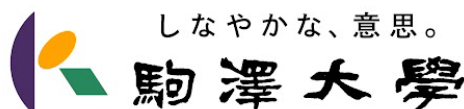
定 員： 200 名（お申込みの先着順といたします）

受講料：1,000 円（受講料は、開講日当日、受付にてお支払いください）

【※】新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては開講中止の場合があります。

【お問い合わせ】 駒澤大学 深沢校舎事務室 公開講座担当
電話：03-3702-9625 FAX：03-3702-9626
（月～金：9時～17時 ※12時30分～13時30分は除く）

大学ホームページ



後援/世田谷区教育委員会

深沢キャンパス
〒158-0081 東京都世田谷区深沢6-8-18
東急田園都市線「駒沢大学」駅
「駒沢公園口」出口から徒歩約15分
駒澤大学HP <https://www.komazawa-u.ac.jp/>

駒澤大学公開講座では、以下の講座を対面形式で開講します。

会場は各回、駒澤大学 深沢キャンパス アカデミーホールを予定しています。

新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては開講中止の場合があります。

| | |
|---|--|
| <p>4月講座</p> <h2>禅の語録を読んでみる</h2> <p>講師:小川 隆 (駒澤大学 総合教育研究部 外国語第二部門 教授)</p> <p>日時: 4月 22日(土) 13:00~14:30</p> <p>「禅宗」は坐禅の宗教だと思われています。確かに、坐禅は大事でしょう。でも、坐禅だけでは「禅」という宗教は成り立ちません。いにしへの禅僧たちは、たくさんの問答を行い、さまざまな物語を産み出し、そして、それらを種々の書物に書きのこしてきました。「禅」について知ることは、そうした禅の古典を読み解くことと切り離せません。</p> <p>この講座では、これまでこの分野になじみのなかったみなさまに、禅の古典の世界を楽しくご紹介します。予備知識は一切必要ありません。どうぞ、お気軽に参加なさってみてください!</p> <p style="text-align: right;">申込締切 4/17(月)</p> <p>受講料: 1,000円</p> | <p>5月講座</p> <h2>徳川家康の江戸入府と関東領国経営</h2> <p>講師:中野 達哉 (駒澤大学 文学部 歴史学科 教授)</p> <p>日時: 5月 27日(土) 13:00~14:30</p> <p>天正18年(1590)、豊臣秀吉が小田原北条氏を攻め勝利したのち、徳川家康はそれまで支配していた三河など5か国から関東へと転封となり、240万石余に及ぶ所領を治める。この秀吉の小田原攻めから家康の江戸入府までの過程と、家康の関東転封から関ヶ原の戦いまでの領国経営の様子をみていく。家康は関東に移り、豊臣大名として最も広大な所領をもち、五大老の筆頭へとようになっていくが、この時期は、のちに天下をとり江戸幕府を開いていく徳川権力の基盤をつくった時期でもある。豊臣政権下での徳川家康の動向と、家臣団の知行割、在地支配、江戸の町の建設など具体的な領国経営の様子を捉えたい。</p> <p style="text-align: right;">申込締切 5/22(月)</p> <p>受講料: 1000円</p> |
| <p>6月講座</p> <h2>大慧宗杲と宏智正覚 南宋初期に臨済宗と曹洞宗を担った禅の巨匠</h2> <p>講師:佐藤 秀孝 (駒澤大学 仏教学部 禅学科 教授)</p> <p>日時: 6月 17日(土) 13:00~14:30</p> <p>南宋初期に曹洞宗の真歇清了(1088~1151)や宏智正覚(天童大覚、隰州古仏、1091~1157)が黙照禅を鼓吹すると、臨済宗楊岐派の大慧宗杲(妙喜、1089~1163)は曹洞宗を黙照邪禅と批判することで、公案参究による看話禅を確立していった。この三禅僧を取り巻く南宋初期の江南禅林を概観し、特に大慧と宏智の人的交流について追ってみたい。</p> <p>真歇と宏智は北宋末期の丹霞子淳(1064~1117)門下の同門であり、大慧は『碧巖録』で名高い圓悟克勤(1063~1135)の高弟に当たる。道元禅師は真歇清一、大休宗珙(天童小珙)一足庵智鑑一長翁如浄一永平道元とつく系統であり、宏智を常に「古仏」と称える反面、大慧の禅に対しては批判的である。</p> <p>浙江省寧波市郊外の天童寺に現存する大慧宗杲賛「天童宏智老人像」の石碑、福井県永平寺所蔵「宏智禅師自賛頂相」(複製)および近年紹介された個人蔵「大慧禅師自賛頂相」の画像を眺めながら、大慧と宏智の交友を探るものである。</p> <p style="text-align: right;">申込締切 6/12(月)</p> <p>受講料: 1,000円</p> | <p>7月講座</p> <h2>ケアの多文化化 — 外国人介護従事者の語りを中心に</h2> <p>講師:土田 久美子 (駒澤大学 文学部 社会学科 准教授)</p> <p>日時: 7月 29日(土) 13:00~14:30</p> <p>近年の日本は、多くの産業で外国出身者の受け入れを行ってきました。ケアに関わる産業もその一つです。日本のケアに関わる労働はどのように多文化化してきたのでしょうか。また、そこで働く外国出身者はどのような思いを持った、どのような人たちなのでしょう。この講座ではまずケアに関わる分野の多文化化を、主に制度の変遷に注目して概観します。そのうえで特に介護の現場で働く外国出身者について、インタビュー資料を中心に考えていきます。</p> <p style="text-align: right;">申込締切 7/24(月)</p> <p>受講料: 1,000円</p> |

講座の申込は専用申込サイトで受け付けます。オモテ面または右記のQRコードを読み取るか駒澤大学ホームページの「イベント欄」に掲載されている公開講座のサイトよりお手続きください。

大学ホームページ



駒澤大学 検索

【お問い合わせ】
駒澤大学 深沢校舎事務室 公開講座担当

電話:03-3702-9625 FAX:03-3702-9626
(月~金:9時~17時 ※12時30分~13時30分は除く)

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1
東急田園都市線「駒沢大学」駅
「駒沢公園口」出口から徒歩約10分
駒澤大学HP <https://www.komazawa-u.ac.jp/>